

令和6年度協会けんぽ・健保組合・共済組合等の特定保健指導

(集合契約B)

協会けんぽ・健保組合・共済組合等の保険者が実施する特定保健指導は、次のとおり代表保険者である地方職員共済組合山口県支部と山口県医師会が契約し、県内統一して実施する。

実施主体 協会けんぽ・健保組合・共済組合等の医療保険者
 代表保険者 地方職員共済組合山口県支部
 受託者 一般社団法人山口県医師会
 実施機関 山口県医師会へ届出をした実施機関

特定保健指導内容表

特定保健指導	動機付け支援	支援形態		原則1回の面接による支援を実施する。支援形態は、1人20分以上の個別支援、または1グループおおむね80分以上のグループ支援(1グループはおおむね8名以下とする。)
		終了時評価の形態		面接又は通信(電話又は電子メール、FAX、手紙、チャット等(以下、「電子メール等」という。))を利用して実施する。
	積極的支援	初回時面接の形態		初回面接による支援を行い、その後3ヶ月以上の継続的な支援を行う。1人当たり20分以上の個別支援、又は1グループ(1グループはおおむね8名以下)当たりおおむね80分以上のグループ支援とする。ただし、初回面接を分割実施した場合、初回面接2回目の支援として、「1人当たり20分以上」の個別支援、「1グループ(おおむね8名以下)当たりおおむね80分」のグループ支援を行う必要はなく、対象者の健診結果や初回面接1回目の内容等に応じて実施する。
		3ヶ月以上の継続的な支援	実施ポイント数	アウトカム評価とプロセス評価を合計し、180ポイント(p)以上の支援を実施することを条件とする。詳細は、厚生労働省作成「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き(最新版)」[図表12:継続的な支援のポイント構成]による。
			主な実施形態	継続的な支援は、個別支援、グループ支援、電話、電子メール等のいずれか、もしくはいくつかを組み合わせで行う。アウトカム評価の評価時期は、初回面接から3ヶ月以上経過後の実績評価時とする。
終了時評価の形態		動機付け支援の終了時評価の形態と同様とする。		

○ 実施にあたっては、厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)」及び「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き(最新版)」を参照すること。

契約単価内訳書

区分	1人当たり委託料単価(消費税含む)	支払条件
特定保健指導※	9,167円	・面接による支援終了後に左記金額から初回時に全額徴収する自己負担分を差し引いた保険者負担額の8/10を支払* ・残る2/10は実績評価終了後に支払
	28,519円	・初回時の面接による支援終了後に左記金額から初回時に全額徴収する自己負担分を差し引いた保険者負担額の4/10を支払* ・残る6/10(内訳としては3ヶ月以上の継続的な支援が5/10、実績評価が1/10)は実績評価終了後に支払 ・3ヶ月以上の継続的な支援実施中に脱落等により終了した場合は、左記金額から初回時に全額徴収する自己負担分を差し引いた保険者負担額の5/10に実施済みポイント数の割合を乗じた金額を支払

※ 特定保健指導の各回の支払額が分割比率の関係で小数点以下の端数が生じる場合は、四捨五入により1円単位とする。

- * 初回面接を分割して実施する際、やむを得ず初回分割面接2回目を実施できなかった場合で、実施機関が、対象者に初回分割面接1回目を実施する前に初回分割面接2回目を受けるように説明しており、かつ以下のいずれかに該当する場合には、実施機関は「初回未完了」として、全額費用請求ができることとする。(実施機関の責により実施出来なかった場合は、費用請求できない。)
 - イ 初回分割面接2回目を実施する前に対象者が資格喪失した場合。
 - ロ 初回分割面接2回目を実施するために、電話や文書送付等の方法を用いて、対象者に複数回連絡を取ろうと試みたが連絡がとれなかった場合。なお、実施した連絡等の事蹟は、「特定保健指導情報ファイル」の初回面接情報に記載すること。
※必要に応じて、保険者(健保組合等)に連絡し、協力を求める。
 - ハ 初回分割面接1回目を実施後、電話等により対象者と連絡がとれたものの、対象者が初回分割面接2回目の実施を拒否した場合。なお、この場合であっても当該電話等において、行動計画を完成させる(初回分割面接2回目を終了させる)よう試みる。また、実施した連絡等の事蹟は、「特定保健指導情報ファイル」の初回面接情報に記載すること。

受診者自己負担額

各保険者によって異なる

協会けんぽ：保険者負担上限額(動機付け支援：8,470円、積極的支援：25,120円)